



2022年度 決算補足説明資料

2023年4月28日

南海電気鉄道株式会社（東証プライム市場 9044 <https://www.nankai.co.jp/>）

目次

I. 2022年度 決算概要	P. 2
1. 業績ハイライト	P. 3
2. セグメント別の状況	P. 5
3. 営業外・特別損益の状況	P. 18
4. 資産、負債及び純資産の状況	P. 19
5. キャッシュ・フローの状況	P. 20
6. 投資額・EBITDA(セグメント別)	P. 21
II. 2023年度 業績予想	P. 22
1. 業績ハイライト	P. 23
2. セグメント別の状況	P. 24

I. 2022年度 決算概要

1. 業績ハイライト①

(単位:百万円)

	2022年度 実績 (A)	2021年度 実績 (B)	対2021年度実績		2022年度 予想 (2022年10月公表) (C)	対2022年度予想	
			増減額 (A-B)	増減率		増減額 (A-C)	増減率
営業収益	221,280	201,793	19,487	9.7%	227,300	△ 6,019	△ 2.6%
営業利益	21,023	12,190	8,833	72.5%	17,000	4,023	23.7%
営業外収益	2,264	2,004	259	13.0%			
営業外費用	4,322	4,263	59	1.4%			
経常利益	18,965	9,931	9,033	91.0%	14,400	4,565	31.7%
特別利益	3,009	25,282	△ 22,272	△ 88.1%			
特別損失	2,600	27,028	△ 24,427	△ 90.4%			
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,623	4,021	10,601	263.6%	10,100	4,523	44.8%

<主な増減理由:対2021年度実績>

運輸業における輸送人員の増加や、建設業における完成工事高の増加等により増収増益

<主な増減理由:対2022年10月公表予想>

建設業における完成工事高の減少により減収となった一方、各セグメントにおける経費や修繕費等の費用節減もあり増益

1. 業績ハイライト②

(単位:百万円)

	2022年度 実績 (A)	2021年度 実績 (B)	対2021年度実績		2022年度 予想 (2022年10月公表) (C)	対2022年度予想	
			増減額 (A-B)	増減率		増減額 (A-C)	増減率
投資額	27,872	21,408	6,464	30.2%	42,800	△ 14,927	△ 34.9%
減価償却費	27,619	28,591	△ 972	△ 3.4%	27,800	△ 180	△ 0.7%
E B I T D A ※	49,645	41,568	8,077	19.4%	45,700	3,945	8.6%
有利子負債残高	474,514	482,487	△ 7,972	△ 1.7%	479,700	△ 5,185	△ 1.1%
純有利子負債残高	436,105	446,017	△ 9,911	△ 2.2%	455,500	△ 19,394	△ 4.3%
有利子負債残高 / E B I T D A ※ 倍率	9.6倍	11.6倍	△ 2.0pt	—	10.5倍	△ 0.9pt	—
純有利子負債残高 / E B I T D A ※ 倍率	8.8倍	10.7倍	△ 1.9pt	—	10.0倍	△ 1.2pt	—

<主な増減理由:対2021年度実績>

投資額 大阪府食品流通センターE棟の竣工等による増加

純有利子負債残高 利益計上等による借入金の削減

<主な増減理由:対2022年10月公表予想>

投資額 投資の期ズレ等による減少

純有利子負債残高 投資の期ズレや増益等による減少

‘なんかいね’があふれてる



※ 営業利益+受取配当金+減価償却費

2. セグメントの構成状況（2023年3月末現在）

【連結子会社54社・非連結子会社17社・持分法非適用関連会社6社】

増減（対2022年3月末）

連結子会社の増加 3社：（会社分割）南海システムソリューションズ株式会社
（新規設立）南海リートマネジメント株式会社、eスタジアム株式会社

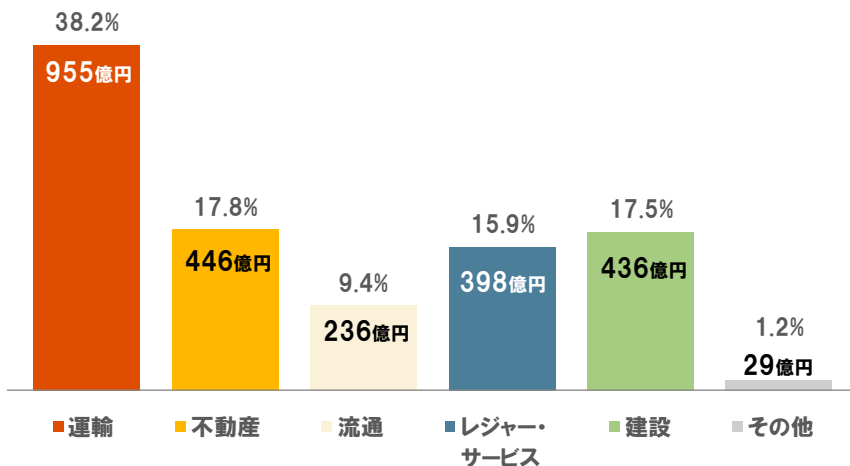
連結子会社の減少 3社：（グループ内合併）南海ウイングバス金岡株式会社、ライフコミュニティ株式会社
（株式譲渡）南海印刷株式会社

非連結子会社の増加 1社：（新規設立）Nankai Global Forwarding (Asia) Co., Limited

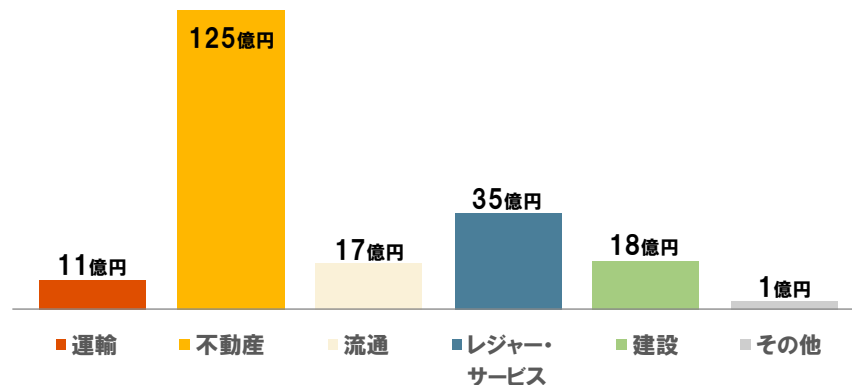


※ 当社は運輸業、不動産業、流通業、レジャー・サービス業に、泉北高速鉄道株式会社は運輸業と不動産業に重複して含まれております。

【セグメント別営業収益】



【セグメント別営業利益】

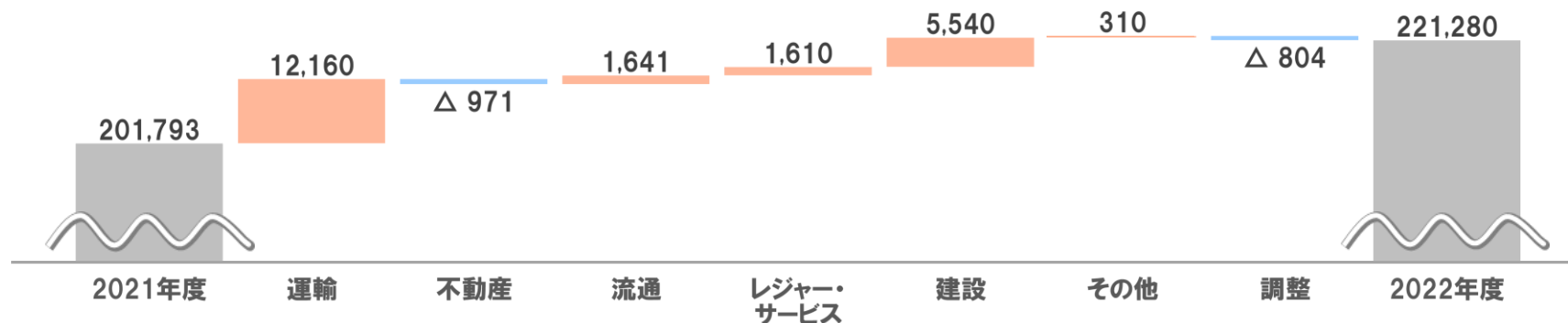


※ 構成比: セグメント間取引を含む営業収益に対する比率

2. セグメント別営業収益・営業利益（対2021年度実績）

① 営業収益の増減額（対2021年度実績）

（単位：百万円）



② 営業利益の増減額（対2021年度実績）



2. セグメント別営業収益・営業利益（対2021年度実績）

（単位：百万円）

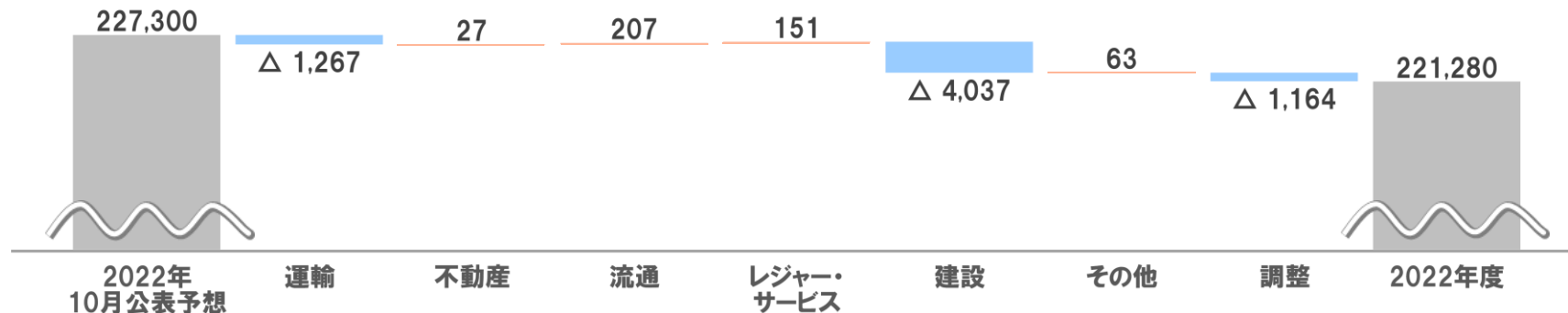
	営業収益				営業利益			
	2022年度 実績	2021年度 実績	増減額	増減率	2022年度 実績	2021年度 実績	増減額	増減率
運 輸 業	95,532	83,371	12,160	14.6%	1,152	△ 7,382	8,534	—
不 動 産 業	44,627	45,598	△ 971	△ 2.1%	12,570	12,577	△ 7	△ 0.1%
流 通 業	23,607	21,965	1,641	7.5%	1,710	1,144	565	49.4%
レジャー・ サービス業	39,851	38,241	1,610	4.2%	3,550	3,834	△ 283	△ 7.4%
建 設 業	43,662	38,121	5,540	14.5%	1,889	1,959	△ 69	△ 3.6%
その他の事業	2,963	2,653	310	11.7%	175	176	△ 0	△ 0.5%
調 整 額	△ 28,964	△ 28,159	—	—	△ 25	△ 120	—	—
合 計	221,280	201,793	19,487	9.7%	21,023	12,190	8,833	72.5%

‘なんかいいね’があふれてる

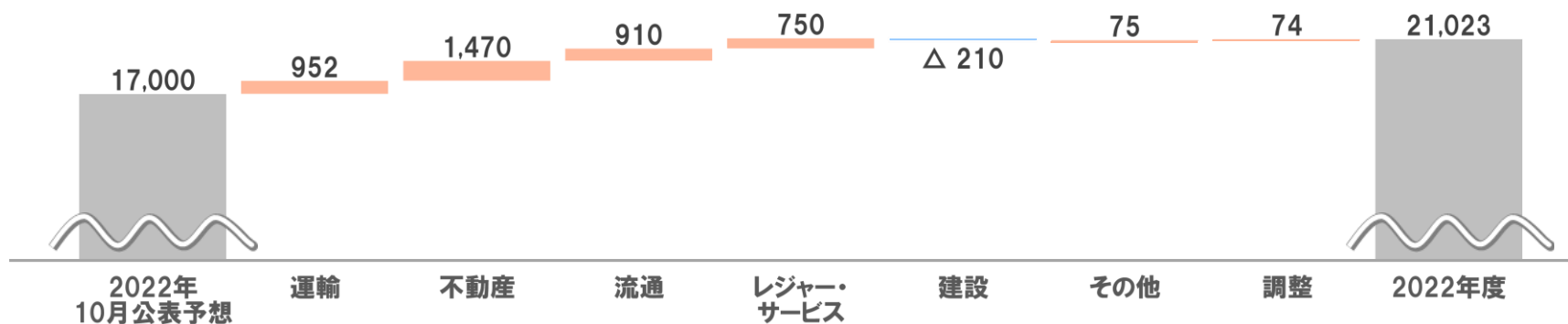
2. セグメント別営業収益・営業利益（対2022年10月公表予想）

① 営業収益の増減額（対2022年10月公表予想）

（単位：百万円）



② 営業利益の増減額（対2022年10月公表予想）



2. セグメント別営業収益・営業利益（対2022年10月公表予想）

（単位：百万円）

	営業収益				営業利益			
	2022年度 実績	2022年度 予想 (2022年10月公表)	増減額	増減率	2022年度 実績	2022年度 予想 (2022年10月公表)	増減額	増減率
運 輸 業	95,532	96,800	△ 1,267	△ 1.3%	1,152	200	952	476.1%
不 動 産 業	44,627	44,600	27	0.1%	12,570	11,100	1,470	13.2%
流 通 業	23,607	23,400	207	0.9%	1,710	800	910	113.8%
レジャー・ サービス業	39,851	39,700	151	0.4%	3,550	2,800	750	26.8%
建 設 業	43,662	47,700	△ 4,037	△ 8.5%	1,889	2,100	△ 210	△ 10.0%
その他の事業	2,963	2,900	63	2.2%	175	100	75	75.8%
調 整 額	△ 28,964	△ 27,800	—	—	△ 25	△ 100	—	—
合 計	221,280	227,300	△ 6,019	△ 2.6%	21,023	17,000	4,023	23.7%

‘なんかいいね’があふれてる

2. セグメント情報(運輸業)

(単位:百万円)

運輸業	2022年度 実績	2021年度 実績	増減額	増減率
営業収益	95,532	83,371	12,160	14.6%
鉄道事業	56,393	48,078	8,315	17.3%
バス事業	20,262	17,513	2,748	15.7%
その他の運輸業	25,757	24,077	1,680	7.0%
調整額(セグメント内)	△ 6,881	△ 6,297	—	—
営業利益	1,152	△ 7,382	8,534	—
主な内訳				
鉄道事業	1,034	△ 5,545	6,580	—
バス事業	172	△ 1,614	1,787	—

<主な増減理由>

・鉄道事業やバス事業において前期と比べ輸送人員が増加したことや、貨物運送業において上半期に輸送運賃高騰の影響があったこと等により増収、損益改善

2. 鉄道旅客収入及び輸送人員表(個別)

(単位:百万円・千人)

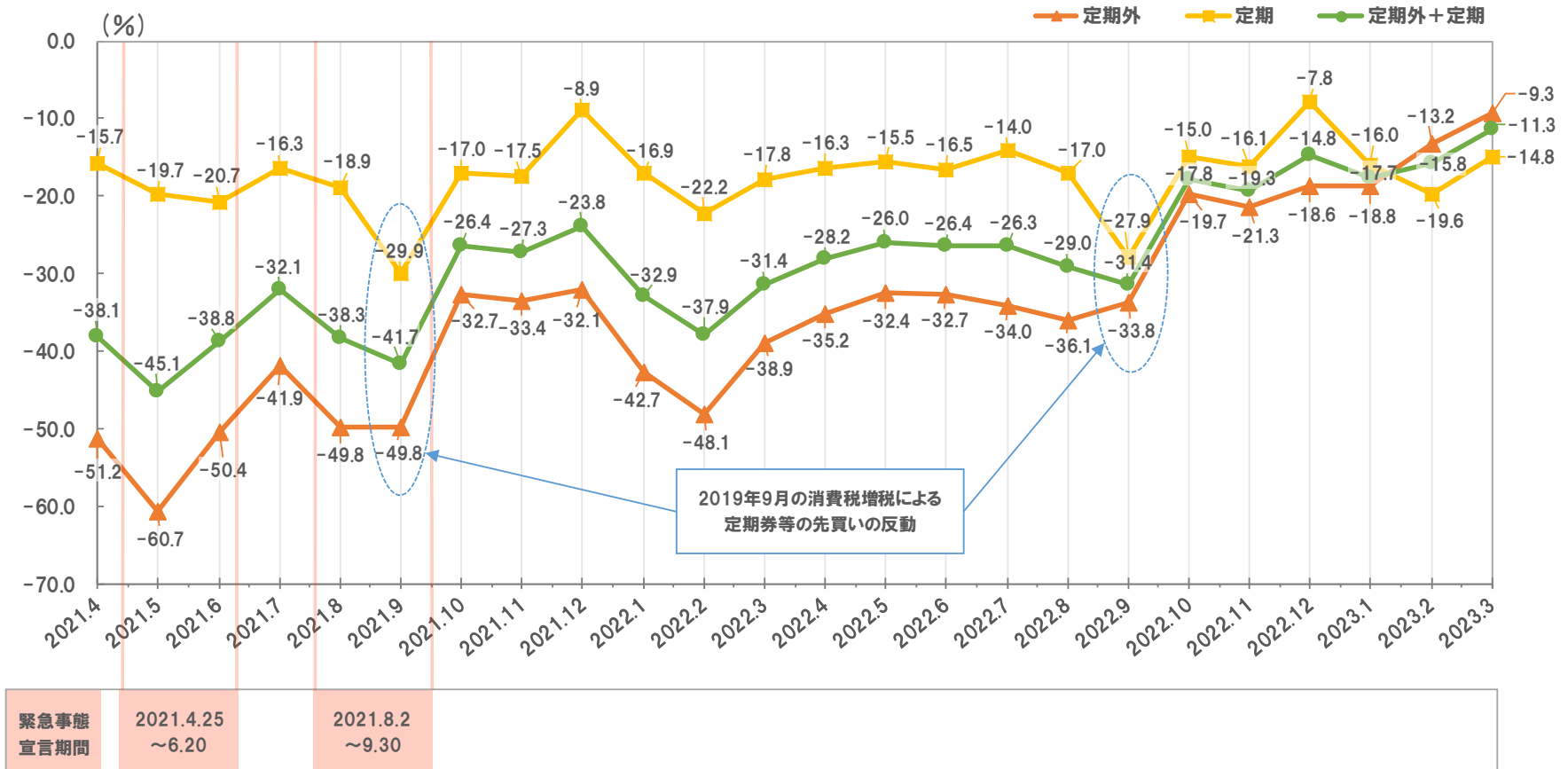
全線			2022年度 実績	2021年度 実績	増減	増減率
旅客収入	定期	外	27,486	20,538	6,948	33.8%
	定期	期	18,971	18,495	475	2.6%
	合	計	46,457	39,033	7,424	19.0%
輸送人員	定期	外	82,077	65,964	16,113	24.4%
	定期	期	121,694	116,887	4,807	4.1%
	合	計	203,771	182,851	20,920	11.4%

空港線			2022年度 実績	2021年度 実績	増減	増減率
旅客収入	定期	外	4,953	2,203	2,749	124.8%
	定期	期	889	780	109	14.0%
	合	計	5,843	2,984	2,859	95.8%
輸送人員	定期	外	6,494	3,194	3,300	103.3%
	定期	期	3,020	2,631	389	14.8%
	合	計	9,514	5,825	3,689	63.3%

‘なんかいいね’があふれてる

2. セグメント情報(運輸業)

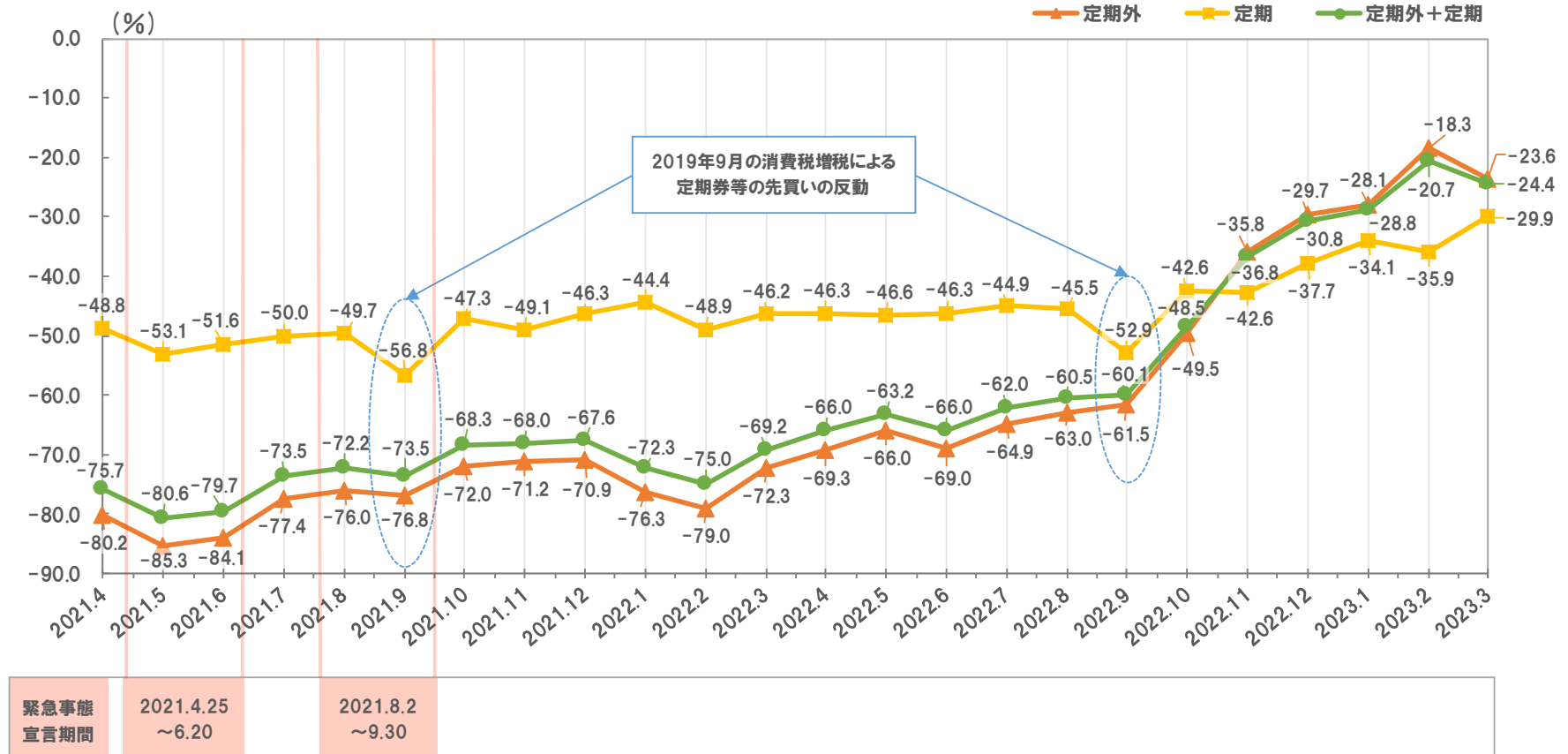
【参考1】(個別－全線)鉄道旅客収入 2019年同月比増減率の推移



※ 2021年4月以降は「収益認識に関する会計基準」等を適用しておりますが、影響額を調整せず単純比較で増減率を算出しております。

2. セグメント情報(運輸業)

【参考2】(個別-空港線)鉄道旅客収入 2019年同月比増減率の推移



※ 2021年4月以降は「収益認識に関する会計基準」等を適用しておりますが、影響額を調整せず単純比較で増減率を算出しております。

2. セグメント情報(不動産業)

(単位:百万円)

不動産業	2022年度 実績	2021年度 実績	増減額	増減率
営業収益	44,627	45,598	△ 971	△ 2.1%
不動産賃貸業	33,968	32,531	1,437	4.4%
不動産販売業	10,943	13,477	△ 2,533	△ 18.8%
調整額(セグメント内)	△ 284	△ 409	—	—
営業利益	12,570	12,577	△ 7	△ 0.1%
主な内訳				
不動産賃貸業	12,049	11,625	424	3.7%
不動産販売業	699	1,115	△ 416	△ 37.3%

<主な増減理由>

- ・不動産賃貸業は、入国制限の緩和に伴うホテル賃貸料収入の増加等により増収増益
- ・不動産販売業は、マンション販売の減少等により減収減益

2. セグメント情報(流通業)

(単位:百万円)

流通業	2022年度 実績	2021年度 実績	増減額	増減率
営業収益	23,607	21,965	1,641	7.5%
ショッピングセンターの経営	13,981	12,260	1,721	14.0%
駅ビジネス事業	11,002	10,705	297	2.8%
その他の流通業	386	609	△ 222	△ 36.5%
調整額(セグメント内)	△ 1,763	△ 1,608	—	—
営業利益	1,710	1,144	565	49.4%
主な内訳				
ショッピングセンターの経営	1,009	581	428	73.8%
駅ビジネス事業	833	618	215	34.8%

<主な増減理由>

・ショッピングセンターの経営において、前期に緊急事態宣言の発出に伴い商業施設(なんばパークス、なんばCITY等)を臨時休館したことの反動等により増収増益

2. セグメント情報(レジャー・サービス業)

(単位:百万円)

レジャー・サービス業	2022年度 実績	2021年度 実績	増減額	増減率	
営業収益	39,851	38,241	1,610	4.2%	
ビル管理メンテナンス業	23,684	23,757	△ 72	△ 0.3%	
その他のレジャー・サービス業	18,266	16,356	1,910	11.7%	
調整額(セグメント内)	△ 2,099	△ 1,872	—	—	
営業利益	3,550	3,834	△ 283	△ 7.4%	
主な 内訳	ビル管理メンテナンス業	1,020	1,353	△ 332	△ 24.6%

<主な増減理由>

- ・ビル管理メンテナンス業は、ビルメンテナンス収入の減少等により減収減益
- ・その他のレジャー・サービス業は、旅行業やポートレース施設賃貸業において新型コロナウイルス感染症の影響が前期と比べ縮小したこと等により増収増益

2. セグメント情報(建設業 / その他の事業)

(単位:百万円)

建設業	2022年度 実績	2021年度 実績	増減額	増減率
営業収益	43,662	38,121	5,540	14.5%
建設業	43,689	38,156	5,532	14.5%
調整額(セグメント内)	△ 26	△ 34	—	—
営業利益	1,889	1,959	△ 69	△ 3.6%

<主な増減理由> 完成工事高の増加等により増収、利益率の低下等により減益

(単位:百万円)

その他の事業	2022年度 実績	2021年度 実績	増減額	増減率
営業収益	2,963	2,653	310	11.7%
その他の事業	2,998	2,663	334	12.6%
調整額(セグメント内)	△ 34	△ 10	—	—
営業利益	175	176	△ 0	△ 0.5%

<主な増減理由> システム収入の増加等により増収

3. 営業外・特別損益の状況

(単位:百万円)

	2022年度 実績	2021年度 実績	増減額	摘要
営業外収益	2,264	2,004	259	
受取利息	25	24	1	
受取配当金	1,003	786	216	
雑収入	1,235	1,193	42	
営業外費用	4,322	4,263	59	
支払利息	3,494	3,817	△ 322	
雑支出	827	446	381	
特別利益	3,009	25,282	△ 22,272	
収用補償金	805	—	805	
工事負担金等受入額	619	23,311	△ 22,691	前期:高石市内連続立体交差化工事(上り線)他
固定資産売却益	548	1	547	
協力金収入	545	—	545	
その他	491	1,969	△ 1,478	前期:大規模施設等協力金 他
特別損失	2,600	27,028	△ 24,427	
固定資産除却損	994	658	335	
工事負担金等圧縮額	578	23,268	△ 22,690	前期:高石市内連続立体交差化工事(上り線)他
減損損失	366	943	△ 576	
その他	661	2,157	△ 1,496	前期:商業施設臨時休館期間にかかる固定費 他

‘なんかいいね’があふれてる

4. 資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

	2022年度末	2021年度末	増減額	主な増減理由												
流動資産	103,616	85,147	18,468	<ul style="list-style-type: none"> ●流動資産 ・固定資産からの振替等による商品及び製品の増加 +102億円 ・未収金の増加等による流動資産その他の増加 +55億円 												
固定資産	831,497	835,829	△ 4,332	<ul style="list-style-type: none"> ●固定資産 ・減価償却等に伴う建物及び構築物の減少 △104億円 ・商品及び製品への振替等による土地の減少 △43億円 ・建設仮勘定の増加 +96億円 												
資産合計	935,113	920,976	14,136	<ul style="list-style-type: none"> ●負債 ・前受金の増加等による流動負債その他の増加 +59億円 ・繰延税金負債の増加 +21億円 												
負債合計	660,526	660,260	266	<ul style="list-style-type: none"> 【有利子負債残高】 (単位:億円) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2022年度末</th> <th>2021年度末</th> <th>増減額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有利子負債</td> <td>4,745</td> <td>4,824</td> <td>△ 79</td> </tr> <tr> <td>純有利子負債</td> <td>4,361</td> <td>4,460</td> <td>△ 99</td> </tr> </tbody> </table>		2022年度末	2021年度末	増減額	有利子負債	4,745	4,824	△ 79	純有利子負債	4,361	4,460	△ 99
	2022年度末	2021年度末	増減額													
有利子負債	4,745	4,824	△ 79													
純有利子負債	4,361	4,460	△ 99													
純資産	274,586	260,716	13,870	<ul style="list-style-type: none"> ●純資産 ・親会社株主に帰属する当期純利益 +146億円 ・その他有価証券評価差額金 +19億円 ・剰余金の配当 △28億円 												
負債純資産合計	935,113	920,976	14,136													

5. キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2022年度 実績	2021年度 実績	増減額	主な増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	39,086	41,879	△ 2,793	<ul style="list-style-type: none"> ● 営業活動によるキャッシュ・フロー ・売上債権の増減 △85億円 ・棚卸資産の増減 △59億円 ・税金等調整前当期純利益 +111億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 26,305	△ 19,669	△ 6,635	<ul style="list-style-type: none"> ● 投資活動によるキャッシュ・フロー ・固定資産の取得による支出 △97億円 ・投資有価証券の取得による支出 +16億円 ・工事負担金等受入による収入 +11億円
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 11,341	△ 27,026	15,684	<ul style="list-style-type: none"> ● 財務活動によるキャッシュ・フロー ・有利子負債増減額 +159億円 ○ 当期 借入金 △179億円 社債 +99億円 ○ 前期 借入金 △239億円
現金及び現金 同等物の期末残高	37,540	36,101	1,439	

6. 投資額・EBITDA(セグメント別)

(単位:百万円)

	投資額			EBITDA ※1		
	2022年度 実績	2021年度 実績	増減額	2022年度 実績	2021年度 実績	増減額
運 輸 業	13,781	11,811	1,969	16,469	8,482	7,987
不 動 産 業	11,006	6,553	4,452	20,433	20,471	△ 38
流 通 業	1,711	1,430	280	5,650	5,440	210
レジャー・ サービス業	1,300	1,557	△ 257	4,839	5,130	△ 290
建 設 業	69	47	21	2,013	2,096	△ 83
その他の事業	3	6	△ 3	187	189	△ 2
調 整 額	—	—	—	※2 51	※2 △ 242	294
合 計	27,872	21,408	6,464	49,645	41,568	8,077

※1 営業利益+受取配当金+減価償却費

※2 EBITDAの調整額はセグメント間取引消去と受取配当金の合計額であります。

II. 2023年度 業績予想

1. 業績ハイライト

(単位:百万円)

	2023年度 予想	2022年度 実績	増減額	主な増減要因
営業収益	253,900	221,280	32,619	●営業収益 運輸業における旅客需要の回復や 鉄道の運賃改定、不動産業の物件 販売収入計上などにより増収
営業利益	24,300	21,023	3,276	●営業利益 運輸業の収支改善により増益
経常利益	21,400	18,965	2,434	●親会社株主に帰属する当期純利益 営業増益および固定資産売却益の 計上などにより増益
親会社株主に帰属する 当期純利益	18,200	14,623	3,576	●投資額 鉄道車両の新造やなにわ筋線関連 出資などにより増加
投資額	52,300	27,872	24,427	●有利子負債残高 不動産業の物件販売収入に加えて、 現預金の段階的な取崩により削減
減価償却費	28,200	27,619	580	
E B I T D A ※	53,700	49,645	4,054	
有利子負債残高	451,400	474,514	△ 23,114	
純有利子負債残高	429,800	436,105	△ 6,305	
有利子負債残高 / E B I T D A ※ 倍率	8.4倍	9.6倍	△ 1.2pt	
純有利子負債残高 / E B I T D A ※ 倍率	8.0倍	8.8倍	△ 0.8pt	

‘なんかいね’があふれてる



※ 営業利益+受取配当金+減価償却費

2. セグメント別営業収益・営業利益

(単位:百万円)

		2023年度 予想	2022年度 実績	増減額	主な増減要因
運 輸 業	営業収益	108,400	95,532	12,867	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道事業 +80億円(当社 運賃改定効果+19億円) ・空港線収入 +32億円 ・バス事業 +23億円 ・貨物運送業 +21億円
	営業利益	5,900	1,152	4,747	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道事業 +37億円 ・バス事業 +7億円
不 動 産 業	営業収益	52,800	44,627	8,172	・不動産販売業 +80億円
	営業利益	11,800	12,570	△ 770	<ul style="list-style-type: none"> ・不動産賃貸業 △18億円 ・不動産販売業 +11億円
流 通 業	営業収益	25,200	23,607	1,592	<ul style="list-style-type: none"> ・駅ビジネス +10億円 ・SC経営 +7億円
	営業利益	1,600	1,710	△ 110	・SC経営 △3億円

‘なんかいいね’があふれてる

2. セグメント別営業収益・営業利益

(単位:百万円)

		2023年度 予想	2022年度 実績	増減額	主な増減要因
レジャー・ サービス業	営業収益	43,400	39,851	3,548	・ビル管理メンテナンス業 +18億円 ・その他 +19億円(旅行業他)
	営業利益	2,600	3,550	△ 950	・ビル管理メンテナンス業 △1億円 ・その他 △8億円(旅行業他)
建設業	営業収益	48,400	43,662	4,737	完成工事高の増
	営業利益	2,300	1,889	410	増収による増益
その他の 業	営業収益	3,100	2,963	136	
	営業利益	100	175	△ 75	
調整額	営業収益	△ 27,400	△ 28,964	—	
	営業利益	△ 0	△ 25	—	
合計	営業収益	253,900	221,280	32,619	
	営業利益	24,300	21,023	3,276	

‘なんかいいね’があふれてる

2. セグメント別投資額・EBITDA

(単位:百万円)

	投資額				EBITDA ※1		
	2023年度 予想	2022年度 実績	増減額	予想額 主な内訳	2023年度 予想	2022年度 実績	増減額
運 輸 業	30,100	13,781	16,318	<収益拡大投資 145億円> ・なんばエリア周辺開発 71億円	21,700	16,469	5,230
不 動 産 業	14,400	11,006	3,393	<安全・更新投資 324億円> ・鉄道関連工事 173億円 車両新造、高架橋補強等	19,700	20,433	△ 733
流 通 業	5,300	1,711	3,588	・不動産及び流通施設工事 72億円	5,700	5,650	49
レジャー・ サービス業	3,400	1,300	2,099	<未来探索投資 64億円> ・新規事業 10億円 eスポーツ事業他	3,900	4,839	△ 939
建 設 業	100	69	30		2,400	2,013	386
その他の事業	0	3	△ 3		100	187	△ 87
調 整 額	△ 1,000	—	—		※2 200	※2 51	—
合 計	52,300	27,872	24,427		53,700	49,645	4,054

※1 営業利益+受取配当金+減価償却費

※2 EBITDAの調整額はセグメント間取引消去と受取配当金の合計額であります。

2. 運輸業 鉄道旅客収入と輸送人員表(個別)

【当社鉄道線 業績予想の前提条件】

- ・コロナによる減収影響は、前年度から縮小するものの、生活様式の変化やインバウンド旅客が戻り切っていないことを踏まえ、空港線(定期外)でコロナ前(平年ベース)の△20%、既設線(定期外)で△10%で推移すると見込む。
- ・別途、2023年10月の運賃改定効果として19億円を織り込む。

(単位:百万円・千人)

全線		2023年度 予想	対前期 増減率	2022年度 実績	対前期 増減率	2021年度 実績	対前期 増減率
旅客収入	定期外	34,032	23.8%	27,486	33.8%	20,538	10.8%
	定期	20,462	7.9%	18,971	2.6%	18,495	△ 0.3%
	合計	54,495	17.3%	46,457	19.0%	39,033	5.2%
輸送人員	定期外	92,585	12.8%	82,077	24.4%	65,964	8.7%
	定期	124,712	2.5%	121,694	4.1%	116,887	△ 0.5%
	合計	217,297	6.6%	203,771	11.4%	182,851	2.6%

空港線		2023年度 予想	対前期 増減率	2022年度 実績	対前期 増減率	2021年度 実績	対前期 増減率
旅客収入	定期外	7,862	58.7%	4,953	124.8%	2,203	30.7%
	定期	1,267	42.4%	889	14.0%	780	△ 6.9%
	合計	9,130	56.2%	5,843	95.8%	2,984	18.2%
輸送人員	定期外	9,708	49.5%	6,494	103.3%	3,194	24.1%
	定期	3,430	13.6%	3,020	14.8%	2,631	2.4%
	合計	13,138	38.1%	9,514	63.3%	5,825	13.2%

‘なんかいね’があふれてる

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因によって異なる可能性があります。

南海電気鉄道株式会社